

あなたの金運が、ここから動き出す！フリーペーパー



世界の金運情報館®

Global Money Luck Insights

川崎区特集

金運飯7選

川崎大師・稲毛神社を巡る

この一冊でわかる
世界の金運習慣！

- ・世界の金運文化
- ・世界の金運フード
- ・世界の金運スポット
- ・世界の金運占い
- ・世界の宝くじ
- ・世界の富豪と習慣
- ・世界の金運アイテム

ポータルサイト開設↓



川崎で長く愛される、地を育てる一冊

お知らせ

川崎山王祭が
6月のお祭り
になります

令和8年(2026年)の日程

6月14日(四)18時 宵祭

15日(月)10時 は王祭

14時 吉式宮座式

20日(土) 町内神楽連合演習

21日(日) 神幸祭

◎境内露店 6月19日(金)~21日(日)

※中止

今まで8月に行っていた「川崎山王祭」は、令和8年の6月15日を中心とした日程に変更することとなりました。お神輿や露店などの関連神事・行事についても、6月に移動する予定となっております。詳細は逐次ご案内をさせていただきますが、何卒ご理解ご承知おきの程、宜しくお願い申し上げます。



稲毛神社

川崎区稲毛山王祭実行委員会
TEL 044-222-4054
www.kashi-yamanote-festival.jp

次号予告



アヤ (35)

次回は皆様からいただいた情報を
中心に第2号を発刊させていただきます。
お楽しみに〜♪

- ・川崎区の地元金運飯
- ・地元絶店特集
- ・金運アイテム

金運情報館は私達がご案内いたします！

このパンフレットは日本に受け継がれる金運文化を中心に

世界の興味深い金運習慣を紹介する入門ガイドです。

総合プロデューサー



ユウ (26) / 188cm / 独身
ホテル暮らし
クルーザー、世界旅行



アシスタント
ミラ / 年齢・国籍非公開
172cm / 映画鑑賞



世界の金運文化担当

安田 敦郎 (50) / 175cm
韓国と日本のハーフ / 日本在住
貿易関連会社経営
世界の文化を見ていくと面白い！



世界の金運フード担当

ひらき (28) / 178cm
神奈川県出身 / 独身
独自の基準でご紹介します！



世界の金運スポット担当

アヤ (35) / 168cm
旅行好き / 独身
一緒に色々なところを回しましょう！



世界の金運占い担当

津川 (50) / 166cm
鑑定歴32年 / 名古屋拠点
あなた自身の流れを読み解くものです！



世界の宝くじ担当

ラヴィ (40) / 180cm / インド出身
日本在住25年 / 趣味：ドライブ
世界の宝くじ文化を語り運の幸運を伝えます



世界の金運アイテム担当

ユリコ (非公開) / 170cm
趣味：映画鑑賞
あなたの感覚に合うアイテムを探してみませんか？



世界の富豪と習慣担当

エドワード (非公開) / 181cm
イギリス出身 / 学者 / 独身 / 自然観察
共通習慣・思考法・日常ルーティンを
文化的背景とともにご紹介します！



世界の口コミ専業担当

ニコ (21)	結花 (20)
165cm	162cm
A型 / ふたの歯	大学在学中
沖縄県出身	テニス・運動
海が大好き	行動力バツグン



世界の金運情報館

Global Money Luck Insights

当パンフレット、サイトは金運に関する情報を紹介する場であり、特定の行為・商品・投資等を推奨したり、成果を保証することを目的としたものではありません。情報の活用については、利用者ご自身の状況に応じて適切な判断をお願いいたします。



詳しい内容や本編は
Webと動画にて公開中！

世界の宝くじ



ラブ (48)

宝くじは夢を叶える文化とも言われますが国によってその意味合いは大きく異なります。社会貢献の財源として根付いている国もあれば、人生運転の象徴として親しまれている国もあります。賞金額、抽選方法、参加の仕方、歴史や背景には、その国ならではの考え方が色濃く表れています。このページでは世界の宝くじ事情を紹介しながら、そこに込められた人々の期待や価値観を紐解いていきます。知れば知るほど宝くじの見方が変わる内容です。

世界の富豪と習慣



エドワード

世界の富豪たちには共通する思考や習慣があります。特別な才能だけではなく、日々の行動、時間の使い方、人との接し方、お金との向き合い方に特徴が見られます。このページでは世界の富豪たちの習慣や考え方を紹介しながら成功の裏側にある日常の積み重ねに焦点を当てます。華やかな結果だけではなく、その過程にこそヒントが隠されています。真似できること、すぐに始められることを見つけていただける内容です。

世界の金運アイテム



ユリコ

世界には、金運を助けて大切にされてきたアイテムが数多く存在します。色や形、素材、持ち方や置き場所にまで意味が込められ、その国の文化や歴史と深く結びついています。このページでは、世界各国で親しまれている金運アイテムを紹介し、それぞれに込められた由来や考え方を解説します。単なる縁起物としてではなく、文化の一部として触れていただくことで、金運に對する視点が広がる内容となっています。

こんにちは。世界の情報誌シリーズの中でも「金運」に特化した専門ポータルが金運情報誌です。本サイトでは世界各国に根付く金運文化や富の思想、金運フードや関連スポット、占い、宝くじ事情、重要な習慣まで、多角的な視点から「お金の本質」を探ります。国が変われば、社会との向き合い方も変わります。折り、努力、愛、色や数字の意味など、その背景にある文化をひも解きながら日本にいながら世界の金運観を学べる構成です。出演する案内人はすべてAIモデル。常に学び進化し続け、より深く正確な情報をお届けします。知識を得るだけでなく、自分のお金との関係性を見直すきっかけとなる場所。それが金運情報誌です。

世界の金運文化



安田 善郎 (50)

国が違えば、金運の考え方もまったく違います。ある国では神に祈り、ある国では努力の結実として受け取り、またある国では先祖からの流れとして大切にされています。食文化、風習、色、数字、建物、生活習慣の中に、その国独自の「お金との向き合い方」が隠れています。このページでは、世界各国に根付く金運文化をひも解きながら、日本とは異なる価値観や発想を紹介し、知ることによって視野が広がり、自分自身のお金との関係性を見直すきっかけになる、そんな文化の奥へご案内します。

世界の金運占い



涼香 (50)

金運を占う方法は国によって驚くほど多彩です。星の配置、手相、数字、生年月日、カード、風水、コーヒーの脱、さらには夢の内容まで世界には古くから伝わる金運の読み解き方があります。このページでは各国に伝わる金運占いの手法や背景にある思想を紹介し、単なる占いとしてではなく、その国の歴史や人々の暮らしの中で育まれてきた知恵として触れていただくことで、世界の視点から見ることで、これまで知らなかった金運の考え方に会えます。

総合プロデューサー
ユウ (26)

川崎区特集

川崎で長く愛される、運を育てる一皿

金運飯7選



もんじゃ焼き
老舗とんかつ店
ちゃんこ鍋
寿司と海鮮料理
焼肉 海鮮
鰻・割烹
老舗和菓子屋

● 金運飯とは？

本冊子で紹介する「金運飯」はいわゆるB級グルメやミシュランガイドの評価とは一線を画すものです。味の点数、価格帯、話題性！そうした一般的な基準では金運は測れないのです。世界の金運情報誌は独自の視点と価値観に基づき、金運飯を選定・推奨しています。その基準は評価でも格付けでもありません。見るのはその店に流れる「人の気」、積み重ねられた「時間」、そして食べた後に残る「前向きな力」です。流行に乗る店、話題を集める店が必ずしも運を呼ぶとは限りません。むしろ静かに焼き、無理をせず、人を大切にしてきた店こそ、金運は溜ると私たちは考えています。

役々が推奨する金運飯は、誰かに評価された結果ではなく、自ら探がめ、感じ、判断した結果です。だからこそ日経でもなければ、高級でもなく、星でも、ランキングでもありません。それでも確かに「運が動く」と感じられる場所だけを紹介いたします。この冊子は正解を示すものではなく、金運をつかむ感覚を読者自身が育てるための案内書です。

● 川崎駅周辺の川崎区

・秘密の金運上昇飯

もんじゃ焼き「遊（ゆう）」



川崎には知る人ぞ知る「金運が上がる」と密かに語られる食事処があります。それがもんじゃ焼きとお好み焼きの店「遊（ゆう）」です。京急川崎駅から徒歩7〜8分。賑やかな通りを少し離れた先に、その店は静かに営業を続けています。詳しい場所や電話番号はあえてここでは記しません。なぜならこの店は「自分でしたり過ごす」ことに意味があるからです。

「遊」の魅力はまず料理にあります。大皿にたっぷり盛り付けられた料理は

どこか懐かしさ、心まで温めてくれます。しかもその内容は毎日違います。常連でさえ、今日何が出てくるのかは分かりません。定番のもんじゃ焼きやお好み焼きは店名を冠した「ゆう」が一品です。番外で、力強く、そして優しい味です。

このお店は地元で愛され続けて35年になります。予約は必須で日曜日は休みです。女性客も多く、義立ってはお断りませんが「笑はすこく居心地がいい秘密の穴場」として知られています。ただしひとつだけ注意があります。一度にたくさん注文すると叱られます。それもこの店ならではの流儀です。

料理は食べる人のペースと気持ちに合わせ出てきます。急がず、欲求らず、流れに身を任せること。それがこの店の正しい過ごし方です。店を切り盛りする女性は店主で、若い頃は美人で人気。そしてその美しさは今も変わりません。その存在そのものが、この店の「運気」を変えているようにも感じられます。そして、もし運が良ければ、お返しとして「手作りのほんのり柚子が香る〇〇」が出てくる可能性があります。

それが出た日は金運大吉です。間違いないありません。

そして羽毛神社の近くにありながら、価格は驚くほど良心的です。派手さはありませんが満たされます。無理に儲けようとせず、長く続くことを大切にできた店の姿勢そのものが金運上昇の本質を教えてくれます。もしこの店がテレビ番組「孤独のグルメ」で紹介されても、なんら不思議ではありませんが、さすが、できることなら、このまは静かに「秘密」であってほしいと思います。金運とは、勝手に頼みに行くものではありません。こうした場所でもと胃袋を満たし、自然と流れてくるものなのです。

老舗とんかつ店「かつ善」



かつ善の大エビフライに込めた私のビジネスの思い

川崎で「金運上昇版」と聞いて、私が真っ先に思い浮かべる一軒があります。それが老舗とんかつ店「かつ善」です。この店の象徴ともいえる一品が、川崎一とも称される大エビフライです。皿に運ばれてきた瞬間、その豪華に誰もが一度は言葉を飲み込みます。大きさ、重み、そして驚かした、たずまい。そこには単なる料理を超えた「縁起物」としての存在があります。

私は新規ビジネスの立ち上げ、店舗開店、大きな決断を迫られる時期、いわば人生の勝負どきには必ずこの大エビフライを食します。それは習慣であり、願望であり、自分自身への覚悟を整える儀式でもあります。

エビフライやとんかつには古くから「勝つ」「調ねる」「伸びる」といった意味を重ねられてきた料理です。特に、ここまで堂々とした大きさと旨さを備えた一皿には、「中途半端な勝負はするな」「そう誇りかけてくる力があります」。

そして店內に目を向けると、ごくまれに

ホールに姿を現す名物の大女将がいらっしゃいます。女将のように美しく、そして島があります。常連客一人ひとりに声をかけ、自然と会話が生まれるその姿は、まさにこの店の「気」そのものです。少し耳が遠くなったように感じることもありますが、それも無理はありません。開店は92歳です。

それでもなお、店に立ち、人に気を配り、道を和ませる姿には「長く続く店」とはこういうものだ」と教えられます。実はこの「かつ善」は医療ドラマ「ドクターX」の撮影現場として使われたこともあります。緊張感のある現場で命や決断を賭く物語の舞台に選ばれたことも、この店の持つ空気感を物語っています。派手な宣伝はありませんが、実力があり、歴史があり、人が集まります。それがそれが金運の正体なのだと、この店は静かに教えてくれます。

金運とは偶然舞い込むものではありません。覚悟を決め、行動し、勝負に向き合う人の心へと、後からついてくるものです。その原点として私は今日もまたこの大エビフライに向き合います。そして大女将さんに会えれば大吉祥だと実感します。

ちゃんこ鍋「神乃満」



川崎に静かに、しかし確実に金運を積み上げてきた店があります。それが家族経営で創業50年を超える、ちゃんこ鍋の店「神乃満」です。先代が言うまでもなく元力士です。土俵の上で鍛え上げた身体と精神、そのすべてがこの鍋に受け継がれています。現在は息子さんが店を継ぎ、力は次の世代へとつながっています。

この店の金運は、「一発逆転」ではありません。積み上げ、昇進、続ける力、それこそが、この店が放つ運の正体です。運が良ければ店を支えてきた大女将に会えることがあります。その存在は、まさにこの店の守り神です。会えた日は間違いなく吉日です。

鍋の味は味噌・醤油・塩の三本柱です。なかでも湯が運ぶのは醤油味にたっぴのんにんこです。「滑りにんにください」その一言が、この店の顔をもう一段深く深く含ませます。鍋が煮えるまでの楽しみも技かりがあります。力士おにぎりは、その名の通り、力が溢る一品です。味噌胡瓜の美味しさ、そして馬刺しのたてがみ、これは間違いなく絶品です。

鍋の仕上げはラーメンが既に選択できるのですが、ここでは声を大にして言いたい！餅を運んでください。この店の餅は、ちゃんこ鍋の本質を最後には伝えてきます。素材の力、出汁の深さ、そして続いてきた時間、すべてが餅に映み、胃と心に残ります。

神乃満の金運は派手ではありませんが強い。それは、

運が、

金運とは耐えたる者に

だけ残るものです。

この鍋は、そのことを静かに、そして確

実に教えてくれます。



寿司と海鮮料理「北陸がっば」



川崎に少し異質で、しかし強烈な金運を放つ寿司屋があります。それが「寿司と海鮮料理 北陸がっば」です。

この店の主人は、かつて誰も知る大建設企業グループ会社の社長を務めた人物です。経営の最前線を走り続けた男が、釣り好きが高じて寿司屋を始めました。しかしそれは隠微でも道楽でもありません。ここには今もなお、獲りに行く者の気配が満ちています。

彼は釣った魚を釣りあげません。高級魚であるうと珍しい魚であるうと「これはうまいから」と喜んで分け合います。

この循環の要諦こそが、この店の金運の源です。ある時は網走へ、鮭を釣りに行きます。またある時は沖繩・宮古島へ、大型魚を求めて向かいます。その行動範囲は日本全国です。もはや釣り人というより、釣り漁師と呼ぶ方がふさわしいです。

店内の壁には、これまで釣りに上げてきた数々の魚の写真が飾られています。それは単なる記録ではありません。「動いた分だけ、結果が残る」その証明でもあります。この店では会える魚は高級魚もあれば、なかなか口にできない珍魚もあります。そのどれもが偶然ではなく、竿を振り、海に出た結果なのです。釣り人であり、経営者であり、寿司屋の主人。そんな人物は、そうそういません。もし店でその名物仕立を見かけたなら、それは大発見です。

平先に伝わる、かすかな熱意。それを感じ、合わせる瞬間。その感覚は、本人いわく、ビジネスの判断とよく似ているそうです。本人はとてめえとくなく、人生の道を問うこともできるでしょう。そこに金運のヒントが転がっているかどうかは開いた人次第です。

鯉・鰻・「まるだいい」



川崎区には長い歴史を刻んできた二軒のうなぎ屋が今も業を営み続けています。大沼とまるだいいです。今回は鰻の「まるだいい」をご紹介します。

百年続く、時代を超える金運

川崎に百年という時間を静かに加えてきた店があります。店の前に立つと、まず感じるのは大正ロマンの気配です。この店は正統時代の空気を今に残しながら、流行に流されることなく、ただ真つ直ぐに続いています。うなぎの味を決める要となる「たれ」は驚くほどあっさりとしています。濃さで味を化さず、うなぎそのものの旨みを正面から引き立てます。それはこの店が百年続いてきた理由そのものです。たいのメニユーにあれば迷わず選ぶたいの「うなぎのとし焼き」です。通好みの一品であり、長く続く店の真の味を知る

金運とは待つものではありません。海に出て手を振り、感じ取り、引き上げるものです。北陸がっぱは、そのことを寿司という形で教えてくれます。

焼肉 海鮮「山水苑」

湧き続ける金運の源

川崎に静かに絶えることなく金運を生み出し続けている店があります。それが焼肉店として続く「山水苑」です。本店で物として知られるのは、焼つけハラミです。時間をかけて仕込み、肉の旨みを最大限に引き出すその煮込みは、積み重ねてきた技と、決して手を抜かない姿勢が凝縮されています。派手さではなく、確かな。それがこの店の金運の源です。

一方「さんすい苑 川崎駅前店」で語るべき一品はランチで提供される牛タンカレーです。気取らず、しかし深い。日常の中で自然に選ばれる、例えも足を運ばせる力があります。本店と駅前店。形は違えど、根に流れているものは同じです。それは「続く味」「裏切らない味」そして「また来たいと思わせる力」です。

そのため入口でもあります。そしてここぞという夜更けの日には、「うなぎの二段重」です。力を蓄え次の勝負へ進むための一膳です。「まるだいい」も、ほぼ家族経営です。派手な装いはせず、受け継ぎ、守り、磨き続けてきました。その姿勢そのものが金運の正体です。百年続くということは数え切れない時代の変化を超えてきたということ。戦争も、不況も、流行の波も、すべてを乗り越えて残った味だけが、ここにあります。金運とは瞬間の幸運ではありません。時間耐えれば続けられる結果です。「まるだいい」の一杯は、そのことを静かに、しかし深く教えてくれます。

老舗和菓子屋「東照本店」

静かに運を整える、豆かん

川崎の金運上昇を語るうえで、最後にしてどうしても外れておきたい一軒があります。それが老舗和菓子屋「東照本店」です。長い歴史を持つこの本店では和菓子を購入するだけでなく、店内で味わうことができるという贅沢な時間が用意されています。静かに日替の中、運を整えるための、問を与えてくれる場所です。



注目すべきは、その店名です。「山水苑」山から湧き出る水は、絶えることなく流れ、清らかさを保ち続けます。この名前自体が、金運を象徴しています。金運とは一度きりの幸運ではありません。湧き水のように少しくずつ、しかし確実に流れ続けるものです。「山水苑」という名は「枯れない池」「尽きない湧き」そんな願いと覚悟が込められています。派手な話題や一時の流行に頼らず、味を磨き、信頼を積み重ね、自然と人が集まる場所になります。

本店の焼つけハラミも駅前店の牛タンカレーも、どちらも湧き続ける水運の一部です。金運とは積み重ねることで自然と集まるものです。山水苑は、そのことを静かに確実に教えてくれます。



挙げたいのが「豆かん」です。余計な甘さはなく、菓子の清純な、豆の旨み、黒蜜の加減、すべてが調和し、完成されています。派手さはありませんが、一口ごとに心が落ち着いていきます。それこそが、この豆かんの力です。そして運が向けば、時折、店に姿を現す大客に会えることがあります。品があり、美しく、潤ったたたきです。その存在そのものが、この店の歴史であり守り神のようでもあります。もし大客に会えたなら、それは間違いなく大吉です。声をかけずとも同じ空間にいられるだけで運が整うように感じられます。

和菓子は祝いや節目、人生の区切りに寄り添ってきた食です。金運とは勢いだけで進むものではありません。最後に必要なのは静かに磨き、整える力です。東照本店の豆かんは、川崎の金運運りを知るにふさわしい一品です。

川崎区

金運スポット巡り

川崎大師・平間寺

川崎山王社・稲毛神社



稲毛神社 御神木大銀杏

●金運スポットとは？

現代では「金運・開運」という言葉は聞いた事やこれと切らずに語られることが多い。しかし江戸時代の人々にとってそれは決して抽象的な願望ではなく生きていくための現実的な祈りであった。

人が集まり、長い時間をかけて祈りや願いが重なられてきた場所には、その土地ならではの独特の空気が残ると言われています。世界には高層ビルや繁華を囲み、人々が足を運び続けてきた場所があります。それは神社や寺院だけでなく、街角の建物、自然の中、閑い中心地など形はさまざまです。なぜその場所には人が集まり続けるのか。なぜ商店や財にまつわる願いが託されてきたのか。

場所を知ることは運を握ることではなく人々が何を大切にしていたのかを知る。そこには目には見えない気配や磁場、空気の流れるようなものが感じられる場所もあります。訪れることができなくても知るだけで心や意識が変わる場所があります。このカテゴリーでは世界に広がるさまざまな金運スポット、世界各地に点在する金運にまつわる場所、その歴史や背景を紹介していきます。

川崎山王社

稲毛神社

〒210-0004 神奈川県川崎市川崎区本町7-17

京急川崎駅下車、徒歩6分
JR川崎駅下車、徒歩 分



稲毛神社は川崎市川崎区に鎮座し、長く地域の氏神・奉仕神として人々の暮らしを見守ってきた神社です。街中にありながら、鳥居をくぐると空気が切り替わり、日常の延長線上に静かな時間が流れ始めます。ここは特別な願いを託す場所というより、生活の軸を築き、日々を無事に重ねていくために人々が立ち寄ってきた場所です。

ここで祈られてきた五穀豊穡、地域安泰、家内安全は現代の言葉に置き換えれば生活基盤の安定を意味していました。五穀が実るといことは食糧の確保が確保され、余剰が生まれ、それを物や労働と交換できる力を持つことを意味します。豊作は単なる自然現象ではなく、そのまま経済的な豊かさへとつながる現実的な価値でした。

また地域安泰への祈りも人々の暮らしと密接に結びついています。火事や疫病、争いが起これば残りは止まり人の流れは途絶えます。宿場町として機能してきた川崎の地が安寧して防くことは、そこで働く人々にとって収入を守ることに等し

いものでした。神社への祈りは、個人の願いを超え、地域全体の安んずるための共同意識でもあったのだと。さらに家内安全とは家族が健康で働けること、家業が続くこと、無駄な出費や不満が起らないことを意味します。家が安定してこそ富が生まれ、それが次の世代へと受け継がれていく、江戸時代の人々にとって、家内安全は最も身近で現実的な生活向上の祈りでした。

●御神木の大銀杏

大銀杏は樹齢1000年を超えています。そして「二度、命を失いかけて、それでも生き残った水」として語り継がれています。その理由は雷と、戦争、自然災害と人為の惨害、2つをくぐり抜けた生き証人です。

一度目は落雷を受け幹が大きく裂けました。普通の水であれば、そのまま枯れてもおかしくないほどの損傷だったといえます。しかしこの大銀杏は裂けた幹の内側から新しい命を再生させた、幹の内側には奇蹟になりながらも枝葉を伸ばし再び生き続けたのです。今もなお、その痕跡は幹の内部に残っています。

二度目は昭和20年4月、川崎は激しい空襲に襲われました。街は焼け野原となり稲毛神社の社殿や境内も大きな被害を受けます。それでもこの大銀杏は焼け残りました。表面は焼け焦げながらも

水分を多く含み薪の性質が火の侵入を防ぐ内部の命を守ったと伝えられています。再生能力が非常に高く、幹が空襲になっても生き残るという、生命力の塊のような木です。「この銀杏は川崎の歴史そのもの」「雷にも戦争にも負けなかった御神木」などと、地元で語られる言葉です。この木はただの古木ではありません。街の移り変わりを見つづけている「証人」のような存在なのです。

現代では、こうした場所は「金庫」「開運」という言葉で語られることが多くなりました。しかし江戸時代以前の人々にとって、それは決して抽象的な願望ではありません。金庫とは明日も生きていくための現実的な祈り、願いを叶えるための家業を継ぐための無事に今日を終えるための願いです。

人が集まり長い時間をかけて祈りや願いが重ねられてきた場所にはその土地ならではの独特の空気が残ると言われています。世界には富や繁栄を願い、人々が足を運び続けてきた場所があります。



それは神殿や寺院だけではなく、街角の建物、自然の中、高いの場、心地よいと感じる場所、形はさまざまでも、共通しているのは「人が立ち止まり、願いを置いている」という事実です。私たちは今も無意識のうちに似た行動をしています。大切な商売の前立ち寄る店、なぜか気持ちが悪う通り、落ち着いて考えられる場所、そこにもまたかつてと同じ「願いの積み重ね」が息づいています。

場所を知ることには運を授かることではありません。人々が何を大切にしていたのかを知ることです。訪れることができたとしても知るだけで視点が変わり意識が変わる場所があります。稲毛神社の大銀杏もまた「生き抜くこと」「守り続けること」「受け継ぐこと」を静かに語り続けている「存在なのかもしれない」。

このカテゴリーでは世界に見づくさまざまな金庫にまつわる場所と、その歴史や背景を紹介していきます。目的は参拝や観光だけではなく、感じる方が変わり、日々の選択が少しだけ変わる。それそれの場所に残された人々の願いの痕跡をたどりながら、なぜそこに祈りが重ねられたのかを静かに理解していきます。

真言宗 智山派

〒210-1852 神奈川県川崎市川崎区大師町4-148

川崎大師 平間寺

川崎大師駅下車、徒歩8分
大師バス停下車、徒歩8分



「川崎大師 平間寺」は神奈川県川崎市にある真言宗智山派の大本山で、約900年にわたり人々の祈りを受け止めてきた寺院です。細心からのアクセスも良く、現在では年間を通して多くの参拝者が訪れますが、その成り立ちも静かで個人的な出来事から始まっています。川崎大師の縁起は、平間兼光という1人の漁師が、夢のお告げに導かれて海中から漁法大師像を引き上げたことに始まると伝えられています。社会的に恵まれない立場にあった人物が信仰との出会いによって人生の転機を迎えたという物語は時代を超えて多くの人の心に重ねられてきました。この小さな縁が積み重なり、やがて大きな寺院へと発展していった背景には人々が祈りに救いを見出してきた歴史があります。

川崎大師が長く親しまれてきた理由の一つは特定の願いに偏らず、人生全体を見つめる場として受け入れられてきた点にあります。病、災害、人間関係、仕事、家族、人が生きる中で避けられない出来事に対し、ここでは「正す」「鎮める」「繋げる」という姿勢が大切にされて

てきました。そのため境内には、派手さよりも落ち着いた緊張感が漂っています。独特の空気が漂っています。

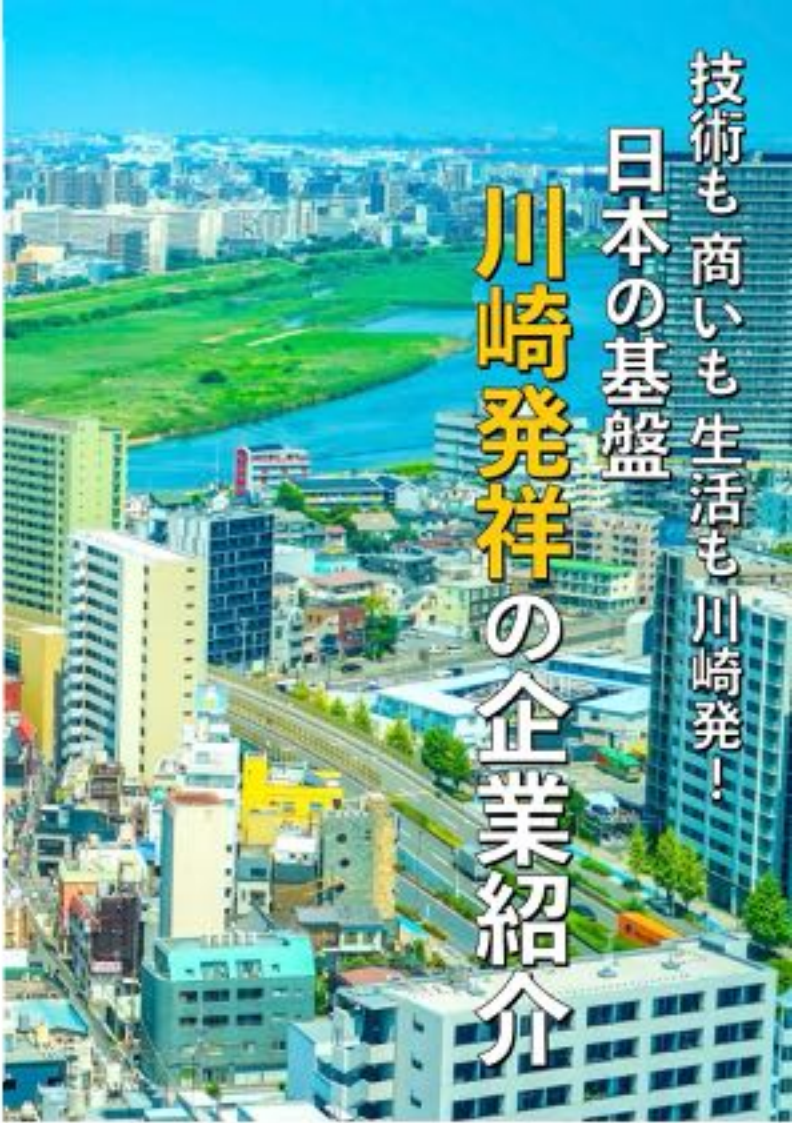
参拝を終えたあとには仲見世から参道沿いに広がる食の風景も、この場所を語るうえで欠かせない要素です。川崎大師とともに発展してきた参道では参拝と日常、祈りと暮らしが分断されることなく並び立ち、食料店や商店が自然と連なっていました。特に参道で親しまれてきた味の代表が久寿軒です。山門前を中心に老舗が点在し、昔ながらの製法で作られる素朴な甘さは参拝後のひと息に最適な存在として長く愛されてきました。だるまの形をしたせべいや串に刺しためおかきなど縁起物として楽しまれてきた軽食も参道の名物です。味わうことと身体が、この土地の時間と触れる体験ともいえます。

川崎大師は特別な力を暗示する場所ではありません。むしろ多くの人が立ち止まり、自分自身の状態や歩みを見つめ直すために訪れてきた場所です。積み重ねられた時間と人の気配が境内の空気として今も残り続け、このことを知ることは信仰の対象を知ること以上に人々が何を大切にしながら生きてきたのかを知ることでもあります。

技術も商いも生活も川崎発！

日本の基盤

川崎発祥の企業紹介



●川崎発祥企業

川崎という街は東京と横浜に挟まれた立地から「通商」と見られがちです。しかし日本の産業史をたどると実は数多くの名だたる企業がこの地で生まれ、育ち、そして全国、世界へと羽ばたいてきました。川崎は単なる工業都市ではなく「実業が生まれ、根付き、拡張していく力」を内包した街なのです。

その象徴ともいえるのが「川崎重工業」です。社名に地名を冠するこの企業は造船からスタートし、鉄道車両、航空機、エネルギー関連へと事業を広げ日本の近代化と産業発展を支えてきました。川崎という土地が持つ資源と技術集約がなければ、これまでの成長は実現しなかったでしょう。

情報通信分野では「富士通」や「日本電気（NEC）」といった日本を代表するIT・通信企業が川崎で誕生してきました。コンピュータ、半導体といった分野で技術革新を起こし、日本の情報社会の基盤を築いた背景には川崎の工業地帯としての厚みと人材の集約があります。インフラの分野では「東芝」の存在も欠かせません。川崎は東京の重要な事業拠点の一つとして、エネルギー、社会インフラ、電機技術の進化を支えてきました。こうした企業が集積したことで川崎は、「技術が技術を呼ぶ」へと成長していったのです。

臨海部を中心としたエネルギー・素材産業も川崎の産業的特徴を語る上で重要な要素です。「夢野浩吉」をはじめとする石油・化学関連企業、そして「昭和電工」や「フジスター」などが資源工業地帯を形成し、日本の高度経済成長を足元から支えてきました。エネルギー、鉄、化学という「産業の土台」が川崎に集中したことで製鉄業と生産業を繋ぐ空気を持つようになったとも言えます。

一方で川崎の魅力は大企業だけにどまりません。食文化の分野では川崎発祥の「ソウルフード」として知られる「元祖ニクタンメン本舗」があります。労働者の街として発展してきた川崎ならではの、タミナ重視でクセになる味は地域に根ざした誇りがいかに長く愛されるかを体現しています。

また菓子・食品分野では「不二家」が川崎を拠点に全国展開を果たしました。誰もが知るベコちゃんや洋菓子文化の普及は川崎から始まった「日常に甘さを届ける喜び」の成功例といえるでしょう。さらに近年では、コ・エネタ分野において「ENE」のような新世代企業も川崎から誕生しています。モバイルゲームやスポーツ事業など新しい時代のビジネスモデルを生み出した背景には川崎の「挑戦を受け入れる土壌」があります。

こうして見ていくと、川崎で発祥・発展した企業には共通点があります。それは活字なイメージよりも「実務」「継続」「現場力」を重視し、社会の基盤を支える分野で着実に価値を積み重ねてきた点です。川崎は一度千の街ではありません。しかし、人・技術・物流、食・エネルギーが交差し、お金と仕事、流れ続ける街なのです。川崎発祥企業の歴史は、そのまま「日本の産業と生活を支えてきた記録」でもあります。静かに確実な力を蓄え、次の時代へとつながっていく、それこそが川崎という街が持つ本道の強さなのです。

2025年度 川崎最強の金運新20選

1. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
2. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
3. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
4. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
5. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
6. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
7. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
8. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
9. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
10. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
11. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
12. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
13. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
14. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
15. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
16. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
17. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
18. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
19. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）
20. 元祖ニクタンメン本舗（ニュータンメン本舗）

中華そば つけめん

玉本店

〒210-0835

神奈川県川崎市川崎区通分町6-1-2



株式会社玉は川崎から全国、そして海外へと成長を遂げたラーメン・つけ麺ブランドです。その原点は、1989年、川崎区通分町に誕生した一軒のつけ麺店にあります。当時まだ現在ほど浸透していなかった「濃厚魚介つけ麺」を考へ、魚介の旨味を凝縮した力強いスープとコシのある麺で勝負しました。労働者の街・川崎で働く人々の胃袋をつかき、口コミで評判が広がり、やがて行列店へと成長します。観光地でも繁華街でもない通分町で支持を得たことは、まさに、地元を根ざした実力の証でした。

人気の高まりとともに法人化し株式会社玉として本格的な事業展開が始まりました。味の再現性や人材育成、店舗運営の仕組みを整え、川崎で培ったノウハウを土台にエリア展開を進めました。その後

全国主要都市へ進出し、現在では約50店舗を展開するブランドへと成長しています。さらに海外にも進出し川崎発祥の濃厚魚介つけ麺は世界へ広がっています。どの地域でも受け継がれているのは通分町で生まれた一杯の本質です。流行に流されず原点の味を磨き続ける姿勢が長く愛される理由となっていました。株式会社玉の歩みは川崎という街の力を体現しています。選手もより実直な、積み重ねを重ねる長い、その土壌があったからこそ、一杯のつけ麺は全国へと広がりました。

川崎発祥の味は今日も人々の生活を支え続けています。それは、地元から世界へ広がった、確かな成功の物語です。

川崎名物ギネスを持つ

おつけもの慶



ホームページより

〒210-0836
神奈川県川崎市川崎区大島上町
18-1 (大島上町店)

ながわの名産！〇〇漬にも選ばれ「8時間でも食べ続けたキムチ」としてギネス世界記録を樹立した実績を持つ。その歩みは川崎という街の実直な勝負の力を象徴しています。創業は2003年。原点は川崎区の小さな直売所でした。即興からの発想をきっかけに「日本人の食卓に合うキムチの新しい形」を目指して挑戦が始まりました。当時キムチはまだ専門店や韓国店で食べるイメージが強い存在でした。しかし慶は毎日の食卓に自然に並び、これほどにも愛される味を追求しました。

川崎は働く人々が暮らす街です。だからこそ選手もより丁寧さを大切にしてみました。素材選び、漬込み、発酵の見極めまで一つひとつを積み重ね、地元での信頼を築いていきます。口コミはやがて広がり、百貨店店舗では行列ができる人気ブランドへと成長しました。

大きな転機となったのがギネス世界記録の達成です。これは単なる販売数の記録ではなく、川崎で磨き上げた味が広く支持された証でした。白米の甘みと発酵の旨味、辛さのバランスが調和した味わいは日本の白ごはんにも合う「和のキムチ」として高い評価を得ています。現在では全国へ商品を届けながらも、原点は川崎区の小さな直売所。地元で育ち、積み重ねてきた味。おつけもの慶は川崎発祥の誠実なものがつくりを今後も食卓へ届け続けています。

フットケアの開拓者

〒21010003
神奈川県川崎市川崎区堀之内町1-2-16

ドクターネイル爪革命



その出発点は川崎区堀之内のわずか10坪のスペースです。小さな一歩から始まった挑戦は今や全国2000拠点以上に広がるフットケアネットワークへと成長しています。構想の原点は訪問マサージの現場にありました。高齢者の自宅や施設を訪れる中で、暮ら川、肥後川、魚の岡、タコ、鎌

の角質といった足爪トラブルに数多く直面したところからです。しかし当時それらを専門的にケアできる環境はほとんどありませんでした。『歩ける足を守る』こととは人生の質を守ることにつながる。その強い想いが2012年から本格的な専門事業構想へと発展してきます。

川崎は工業と物流の街であると同時に多様な世代が暮らす生活の街です。現場で見た課題をそのままにせず、解決策を形にする。その美意識な精神は、まさに川崎の風土と重なります。医療的視点を取り入れながら専門的なネイルケアメニューを体系化し、安全性と再現性を磨いた技術の確立に力を注いできました。

川崎区堀之内で増えた小さな店舗は、やがて他県を積極的、フランチャイズ展開へと発展します。現在では北海道・東北・関東から沖縄、石川県、富山県、新潟県、佐賀県に至るまで、全国各地に広がるが広がっています。都市部だけでなく、離島や地方都市にもネットワークが及んでいることは「足の悩めは全国共通の課題である」という事実を示しています。

単なるサロン展開ではなく、医療連携や大学・介護施設との本連携、技術研修、



で地域医療や介護の連携も視野に入れています。ここは単なる店舗ではなく、顧客の健康と、顧客の技術と、理念を発信する中核拠点となつていくのです。

衛生管理基準、トラブル予防のガイドラインなどを整備し接遇研修など、専門家としての責任を明確化してきた点も特徴です。そして2025年にはフットケア業界の健全化と信頼向上を目指す「コンプライアンス宣言」を発表、施術の安全性、説明責任、法令遵守を徹底する姿勢を打ち出しました。これは急拡大する市場の中で品質と信頼を守るための真意表示でもあります。

同年、知の駅前砂子・三浦ビルを間に日本最大級のフットケア専門店(川崎駅前店)をリニューアルオープン。医療的視点とサロン機能を融合させた拠点として

金運クイズ解答

※本クイズは、金運を高めるためのヒントを隠しています。

宝くじ編

世界で史上最高額な宝くじ
抽選会はいくら？

C. 約2,900億円

「金額のスケールを知ること」
自体が金運思考を広げる

金運が強い人に多いと言われる
「宝くじ購入前の行動」は？

A. 買う前に使い道を
具体的にイメージする

お金の使い道を思い描く人は
金運を受け取りやすいと言
われる

風水・金運的に「宝くじの保管場所」
として良いと言われるのは？

B. 冷蔵庫の中

冷蔵庫＝「貯」「保管」「集
められない」象徴で金運界では
定評

金運が下がりやすいと言われる
宝くじの買い方はどれ？

B. 買った直後に
番号を確認

すぐ確認＝「結果への執着」が
金運を落とすという考え方

縁起物編

世界で最も高価な縁起物と
して取引されたものは？

B. 清教徒時代の皇帝印
(王璽)

約80億円超
皇帝＝最高権力の象徴

世界最高額で落札された
「縁起の良い宝石」は？

A. ピンクダイヤモンド

約800億円超
希少性トップクラス

金運アップの象徴として最
高額でついた日本刀は？

A. 正徳

鑑定100億円超
武家の守り刀＝財運と権威

世界で最も高価でついた
「縁起の悪い物」は？

C. 黒猫の彫刻刺

約50億円超
黒＝富と成功の象徴

世界の車編

世界で最も高価で取引され
た車はどれ？

A. フェラーリ 250 GTO

約700億円超
個人取引・世界最高額クラス

新車価格として「世界最高
額」とされる車は？

B. ロールスロイス
ボートビル

約40億～45億円
新車価格
完全オーダーメイド

オークションで最も高価落札
されたクラシックカーは？

C. プジョー
505

約18億～20億円
(1台限定・佐賀モデル)

金運的にも象徴的な「世
界最高額の日本車」は？

A. トヨタ 2000GT

約3億～4億円
日本車オークション最高額

口コミ募集

こちらから



地域情報 提供フォーム



あなたの体験を教えてください



■ 募集エリア

・川崎市
・横浜市
・東京都大田区

■ 地域情報募集

世界の金運情報館では実際に訪れた体験や個人の実感を
をもとに、地域に特化した店舗・良い・商品をご紹介
しています。広告目的の掲載ではありません。掲載料は
一切いただきありません。皆さまの体験談を精査の
うえ、編集部で確認後、掲載させていただきます。掲載
が決定した場合には感謝の気持ちとして謝礼をお渡しし
いたします。謝礼は掲載決定後にご案内いたします。

こんにちは、ニコです。ア
シスタントの結花です。私
たちは一般広告を出してい
ない個人店・小規模店舗の
情報を数回しています。私
たちは地域で静かに続いて
きた良い店舗を丁寧に伝
えるメディアです。
私たちが口コミを集める理
由は、この街に残したいから
です。広告費が出せない、宣
伝ができない、でも、なくな
るにはあまりにも惜しい店や
人。知られないまま壊れて
いる地域の力を、私たち
が取り戻して伝えます。対
象は飲食店だけでなく、花屋
や理髪店、床屋さんなど
（街の功労者）。あなたの
体験が、未来へつなぐ縁に
なります。